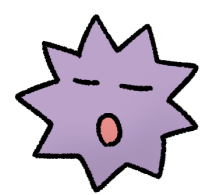


病原体のきもち × 海面養殖

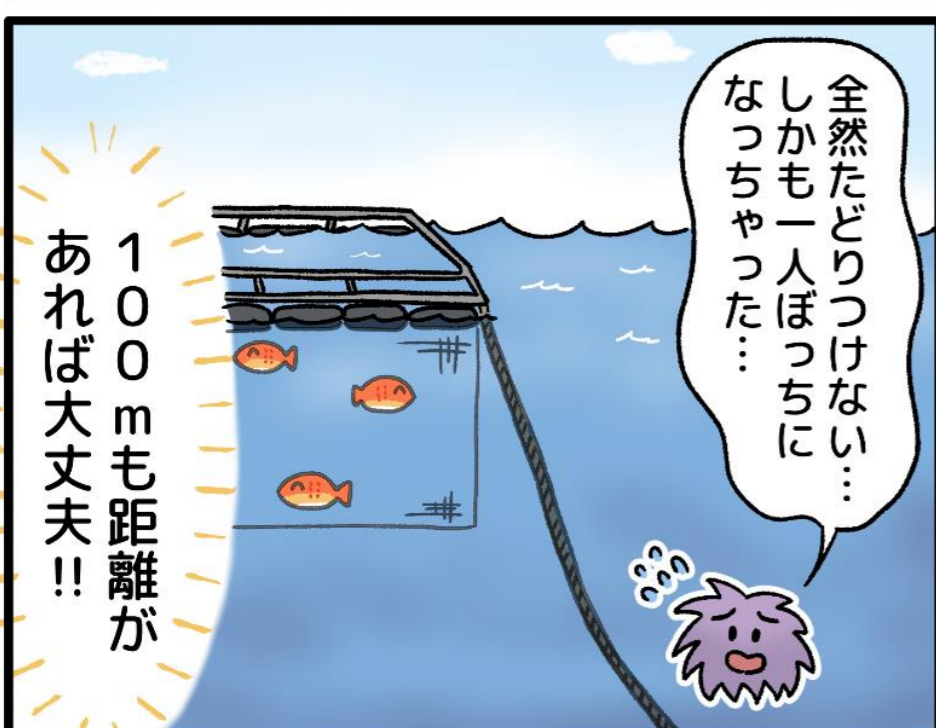
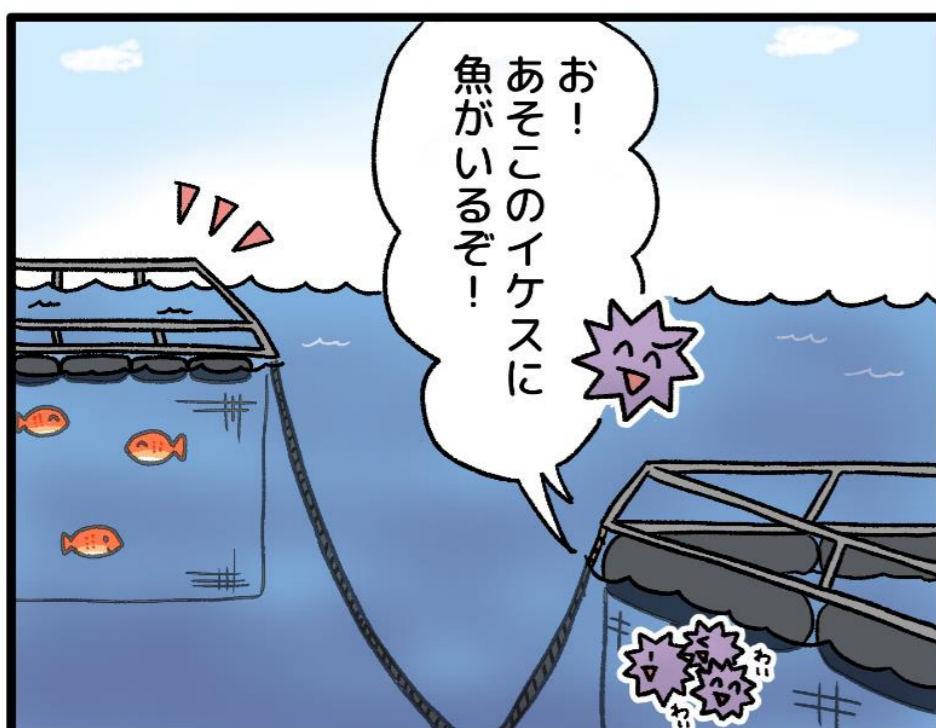
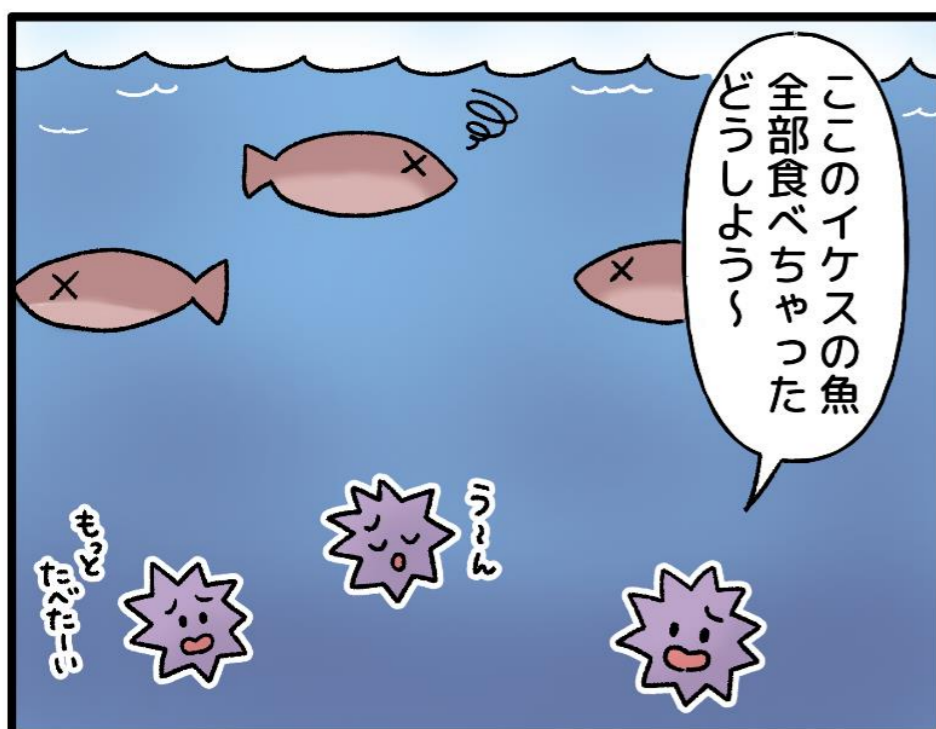


海面養殖における病原体の伝播は海水が主体だと考えがちですが、必ずしもそうではないことが分かってきました。病原体の声を聞きながら、どうやって病原体が広範囲に広がっていくのか見ていきましょう。海面養殖での防疫対策のヒントが見えてきませんか？

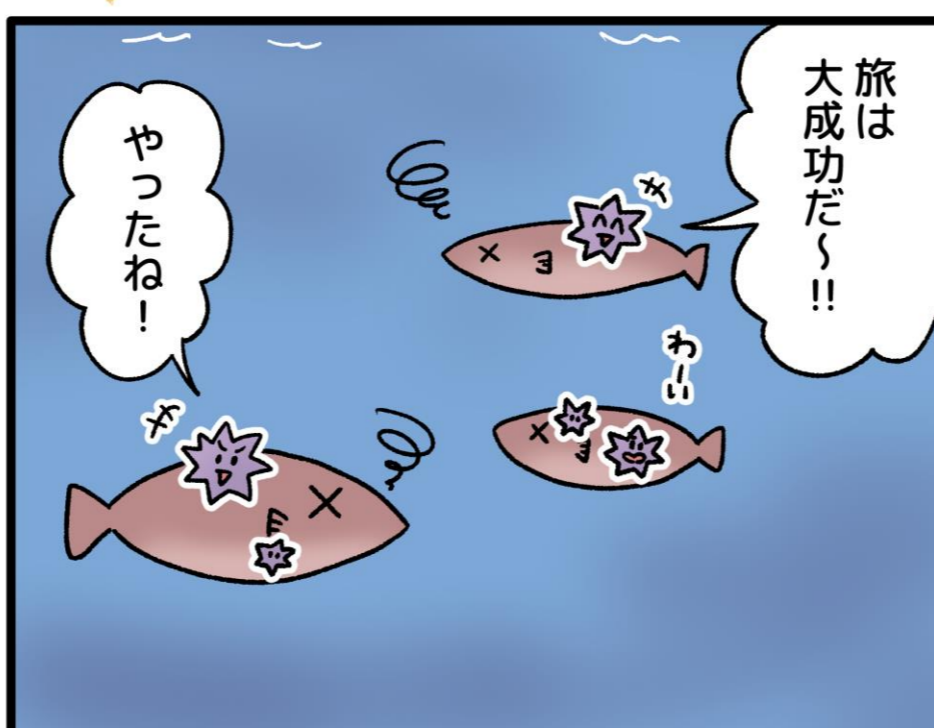
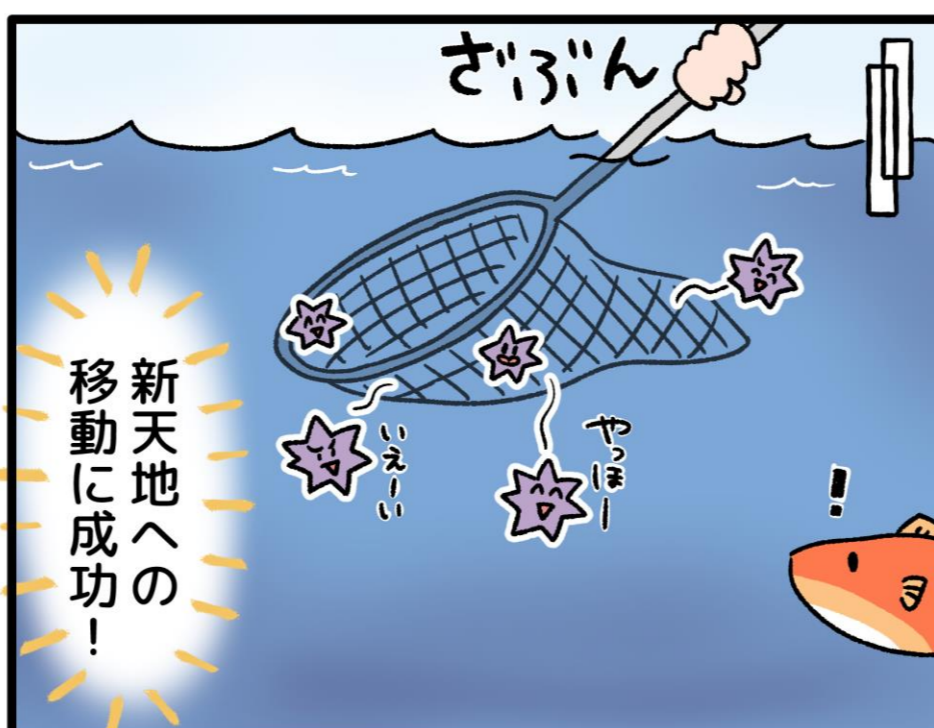
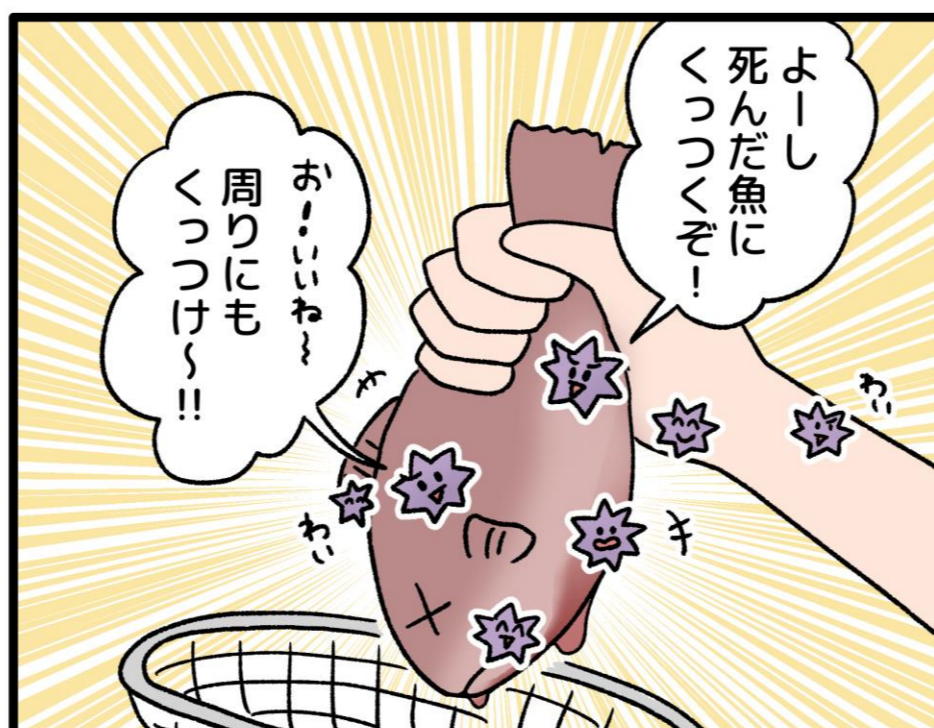
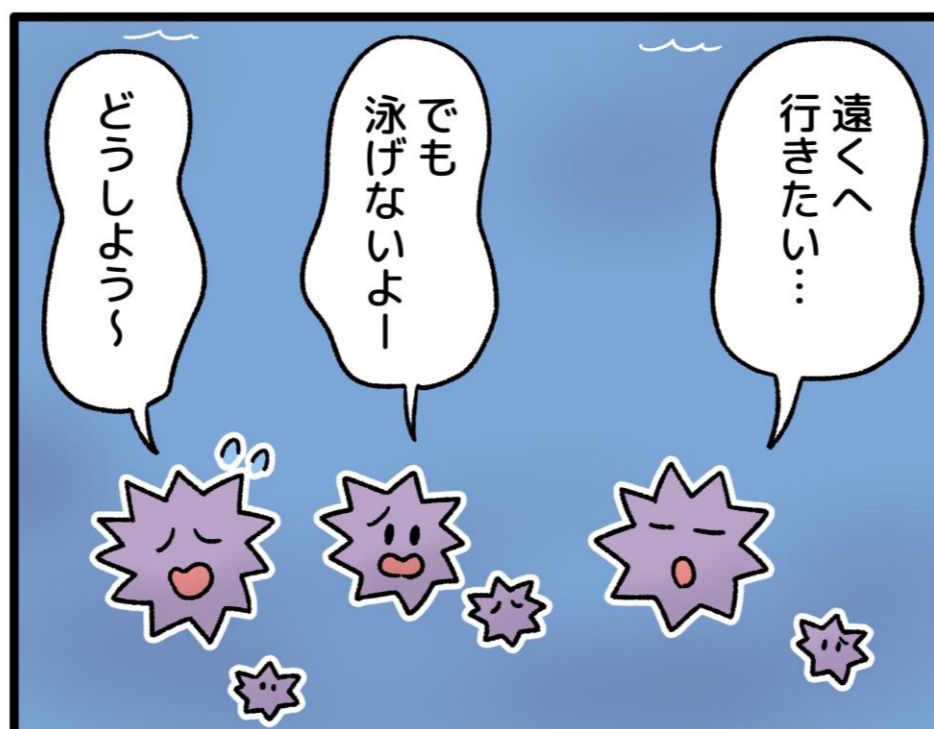
→海面養殖の防疫対策を考える2へとつづく...



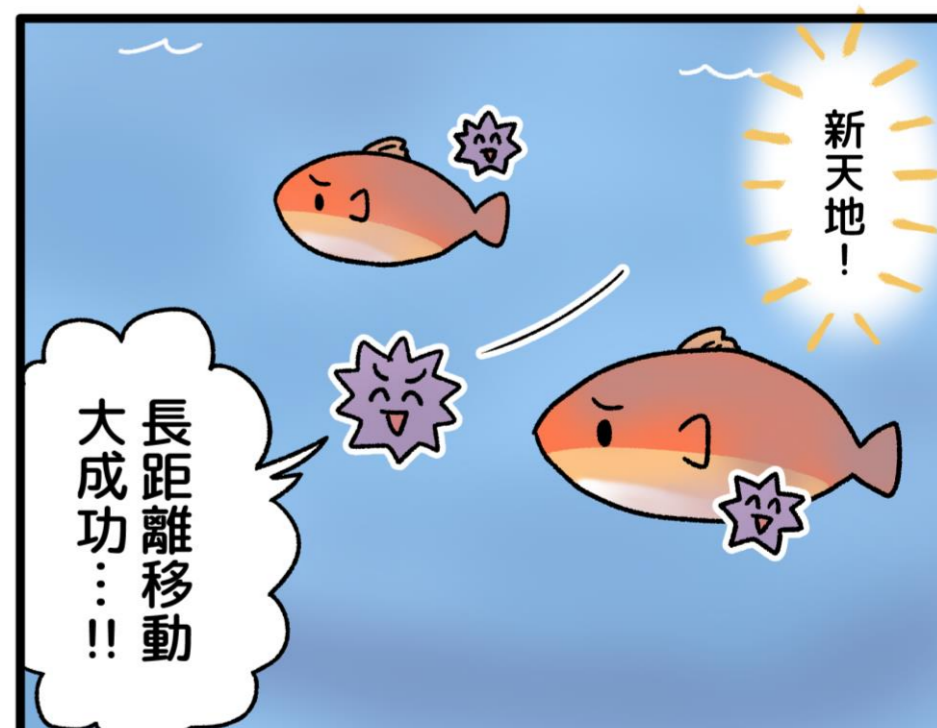
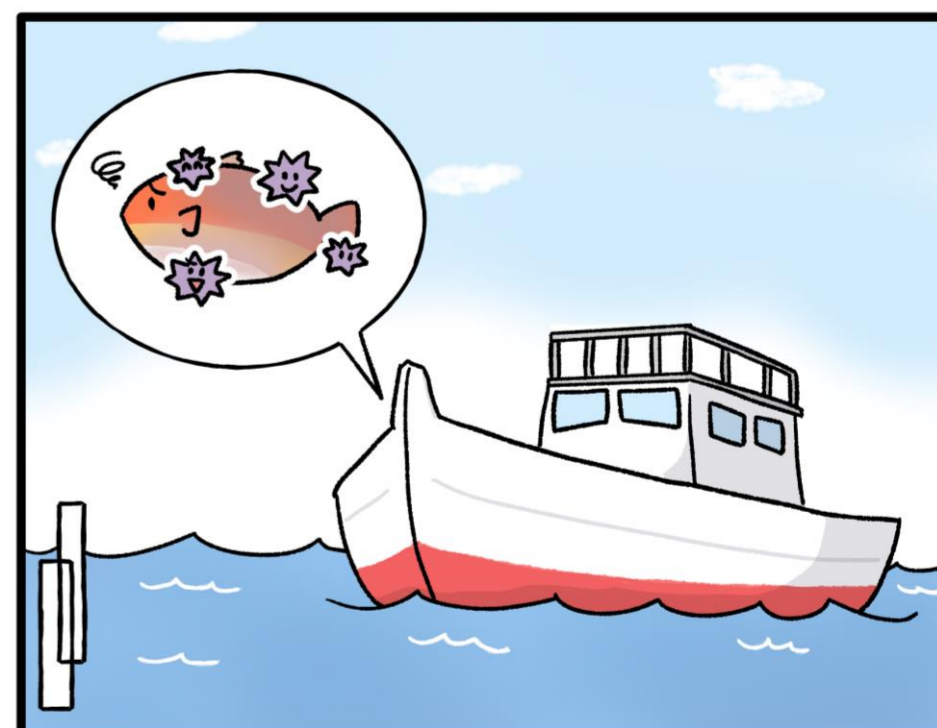
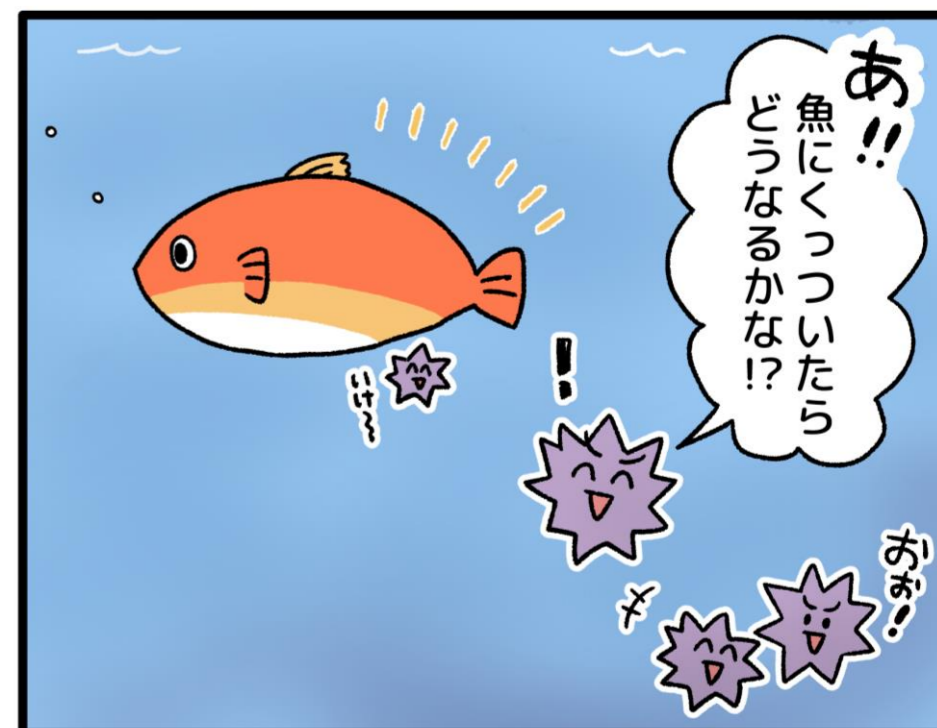
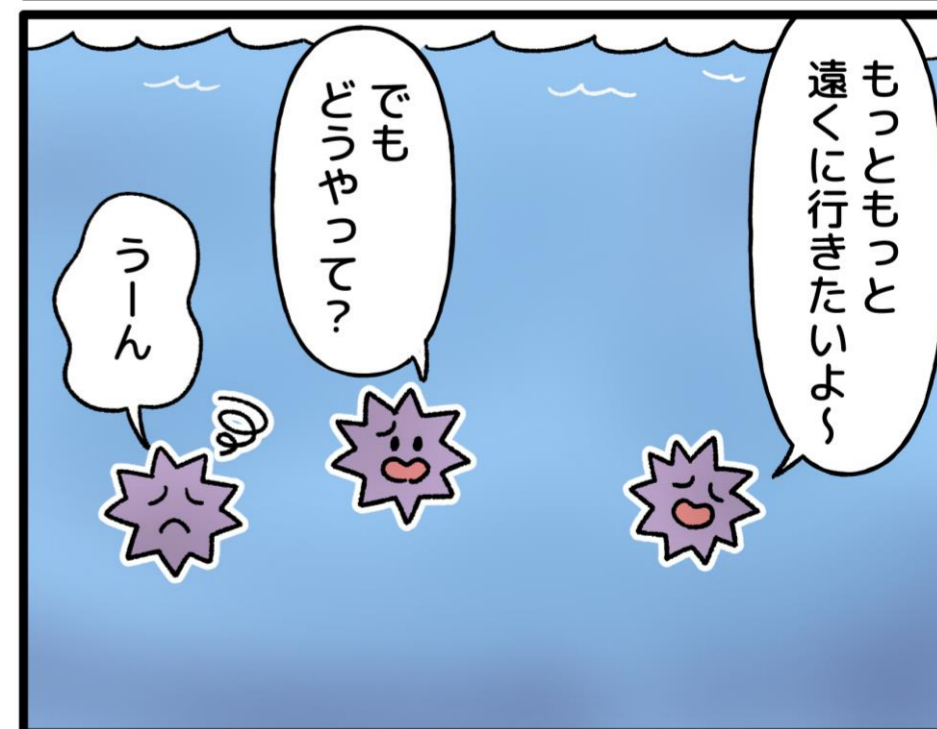
① 遠くに行けないよー



② 遠くに行く方法は？



③ もっと遠くへ！



【ワンポイント解説】

潮流等を考慮すれば、100m程度の距離でも海水を介した病原体の拡がりを防ぐ効果が見込めます。



【ワンポイント解説】

感染症による死魚を扱ったタモ網や手は高濃度に汚染され、海水では届かない距離まで病原体を運んでいる可能性があります。



【ワンポイント解説】

外観上健康に見えている活魚でも、病原体が感染していて、移動先で発症したり、新たな宿主を見つけて思わぬ被害を出すことがあります。

